

国土交通省河川局
(9/5 11:00現在)

今後の調査により、数値等が
変わることがあります

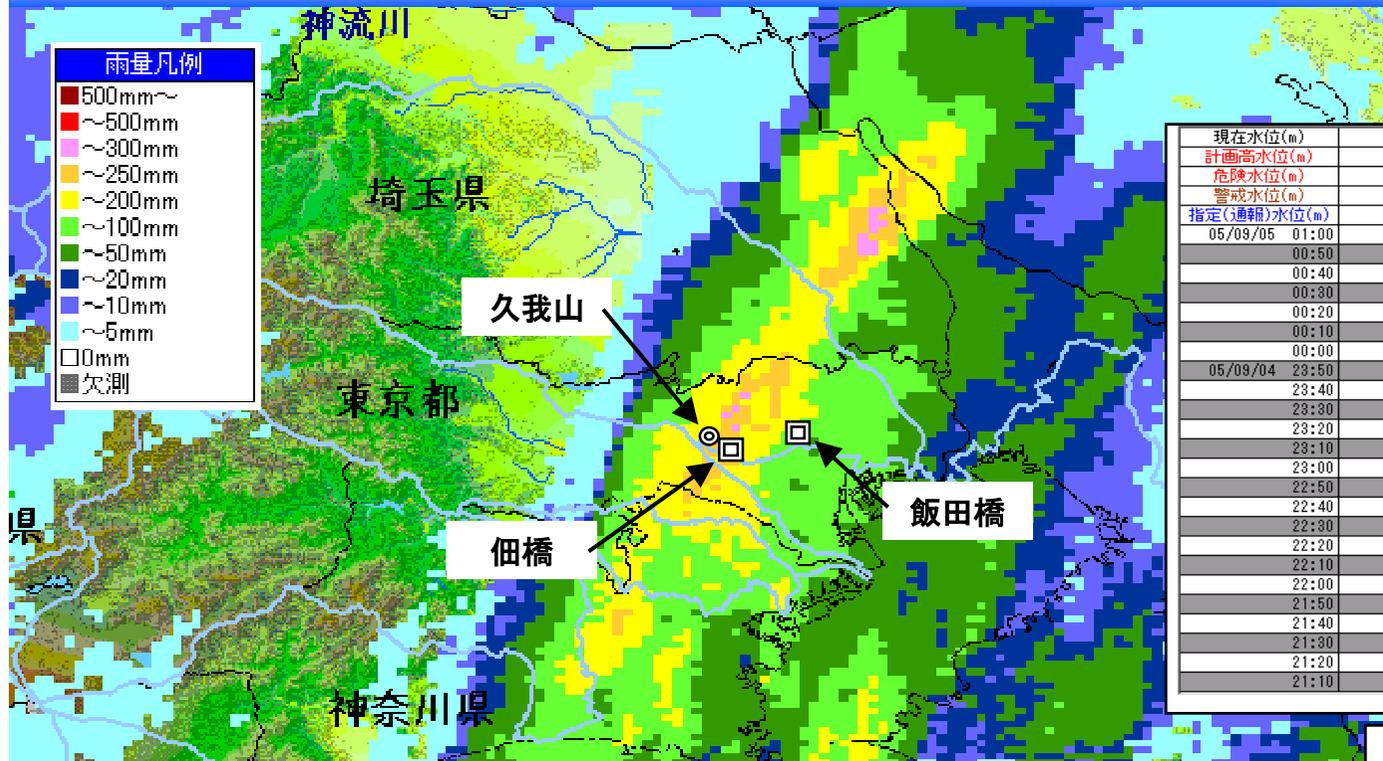
平成17年9月4～5関東集中豪雨による災害資料

(速報値)

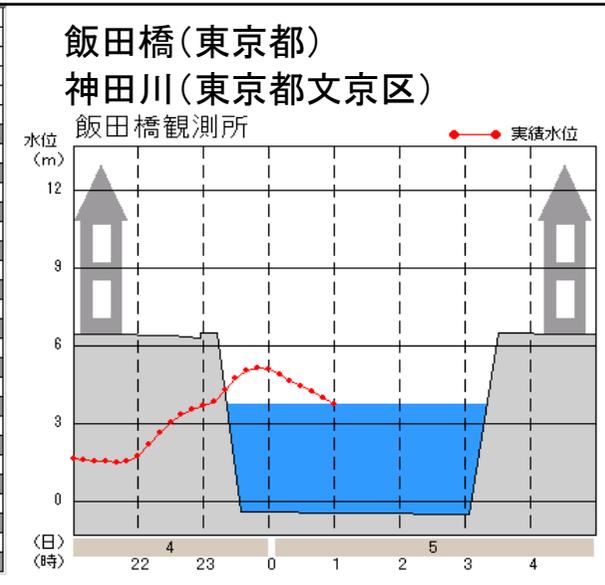
平成17年9月

河 川 局

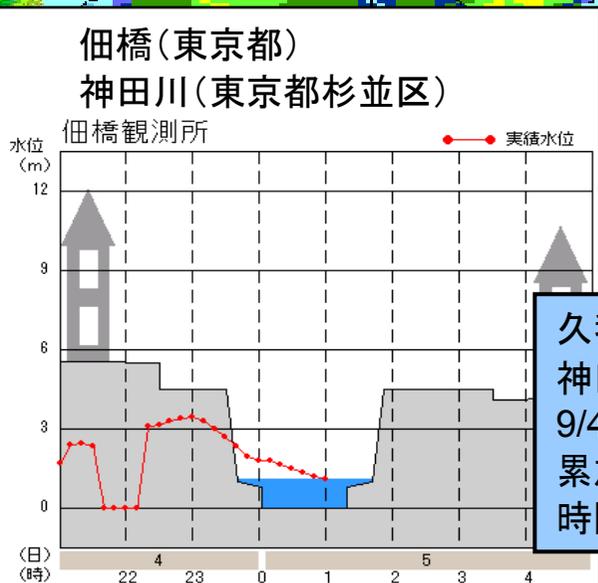
集中豪雨による神田川流域の降雨状況



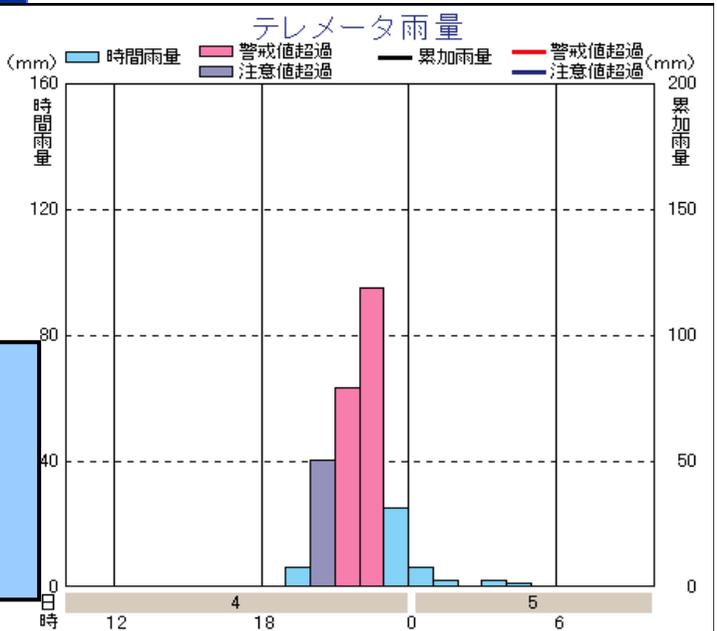
現在水位(m)	3.79 ↓
計画高水位(m)	-
危険水位(m)	-
警戒水位(m)	-
指定(通報)水位(m)	-
05/09/05 01:00	3.79 ↓
00:50	4.04 ↓
00:40	4.27 ↓
00:30	4.48 ↓
00:20	4.69 ↓
00:10	4.94 ↓
00:00	5.14 ↓
05/09/04 23:50	5.18 ↑
23:40	5.07 ↑
23:30	4.75 ↑
23:20	4.30 ↑
23:10	3.87 ↑
23:00	3.71 ↑
22:50	3.58 ↑
22:40	3.36 ↑
22:30	3.07 ↑
22:20	2.68 ↑
22:10	2.21 ↑
22:00	1.75 ↑
21:50	1.59 ↑
21:40	1.52 ↓
21:30	1.55 ↓
21:20	1.57 ↓
21:10	1.63 ↓



現在水位(m)	1.08 ↓
計画高水位(m)	-
危険水位(m)	-
警戒水位(m)	-
指定(通報)水位(m)	-
05/09/05 01:00	1.08 ↓
00:50	1.17 ↓
00:40	1.31 ↓
00:30	1.46 ↓
00:20	1.64 ↓
00:10	1.80 ↑
00:00	1.79 ↓
05/09/04 23:50	1.95 ↓
23:40	2.32 ↓
23:30	2.68 ↓
23:20	2.89 ↓
23:10	3.28 ↓
23:00	3.42 ↑
22:50	3.36 ↑
22:40	3.27 ↑
22:30	3.14 ↑
22:20	3.08 ↑
22:10	0.00 →
22:00	0.00 →
21:50	0.00 →
21:40	0.00 ↓
21:30	2.33 ↓
21:20	2.44 ↑
21:10	2.36 ↑



久我山雨量観測所(東京都)
神田川(東京都杉並区)
9/4 20:00~9/5 5:00
累加雨量240mm
時間最大95mm



集中豪雨による神田川等(東京都管理河川)の浸水被害箇所



神田川
中野区、杉並区



整備後の神田川
(中野区本町・弥生町付近)

平成5年台風11号及び平成16年台風22号との今回集中豪雨比較

	台風11号 (平成5年8月27日)	台風22号 (平成16年10月9日)	集中豪雨(今回) (平成17年9月4日)
総雨量(時間雨量)	288(47)mm	284(57)mm	240(95)mm
浸水面積	85ha	1ha未満(10月15日現在)	調査中
浸水家屋(床下・床上)	3,117戸	7戸(10月15日現在)	調査中

※台風11号及び台風22号の雨量はいずれも弥生町雨量観測所の数値である。今回雨量は、杉並区久我山観測所による。

神田川・環状7号線調節池事業

神田川・環状七号線地下調節池は、水害が頻発している神田川の中流域に将来計画している「環七地下河川」を先行的に整備し、当面これを調節池として利用するものです。環状七号線の道路下に延長4.5km、内径12.5mのトンネルを建設し、ここに神田川と善福寺川の洪水約54万m³を貯留。

※環七地下河川 環状七号線の地下に、白子川を上流端として、石神井川、神田川、目黒川等10河川(下水道幹線を含む)の洪水を合流させ東京湾に導きポンプ施設により湾へ排水する延長30kmの河川のことです。

1) 第一期事業

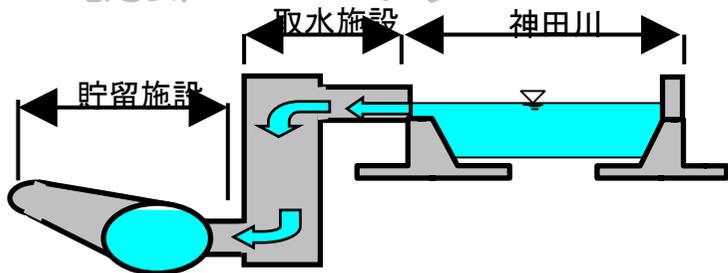
第一期事業では、神田川の洪水を貯留するために、延長2.0kmの調節池トンネルと洪水を取り入れる取水施設を建設しました。昭和62年度に着手した事業は、同9年4月より約24万m³の調節池として供用を開始。

2) 第二期事業

第二期事業は、善福寺川の洪水約30万m³を貯留するため、延長2.5kmの調節池トンネルと洪水を取り込む取水施設を建設するもので、平成3年度に着手、本年9月17日より善福寺川から調節池への取水予定であった。



調節のしくみ



神田川から洪水を地下貯留施設へ取り入れる



神田川取水施設の流入状況

今回の集中豪雨時の効果

		全体計画	第一期	第二期
施設概要	貯留量	54万m ³	24万m ³	30万m ³
	トンネル延長	4.5km	2.0km	2.5km
	トンネル内径	12.5m	同左	同左
	取水施設	2カ所	神田川	善福寺川
9月4日豪雨による貯留量		40万m ³	24万m ³	16万m ³

神田川より合計約40万m³を貯留
(効果については、実態を把握した上で検証予定)